



誠和会だより

発行責任者 医療法人誠和会 理事長 和田 徹也



当院は災害拠点病院として、DMATを組織し災害派遣を行うと共に災害発生時の傷病者受け入れや搬出に備えています。

Disaster Medical Assistance Team

DMAT(災害派遣医療チーム)とは、医師、看護師、業務調整員で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期(おおむね48時間以内)から活動できる機動性を持った、専門的な訓練を受けた医療チームのことです。

CONTENTS

- 能登半島地震災害派遣報告... P2
- 緩和ケア... P3
- 新任医師紹介... P3
- 外来担当医一覧... P4

能登半島地震災害派遣報告

医事課/業務調整員 山中朋美

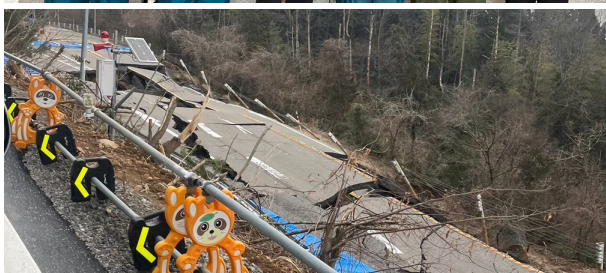
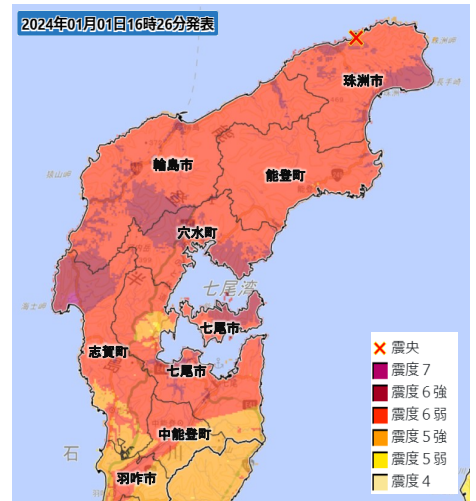
令和6年1月1日16時10分頃、石川県能登地方で最大震度7を観測する地震が発生しました。消防庁の発表によると、死者245名、負傷者1,302名（4月15日時点）、家屋損壊が相次ぎ、避難者数は一時5万人を超えるなど被害は甚大なものとなりました。宮崎県は1月17日～2月4日の間に6隊のDMATを順次派遣。当院DMATは石川県の穴水町に派遣され2月1日～2月4日までの4日間、災害支援活動を行いました。

穴水保健センターに設置された調整本部が我々の活動拠点となり、医師会、保健師会、薬剤師会、日本赤十字社など様々な団体から派遣された災害支援部隊と共同支援を行いました。具体的には、参集する複数のDMAT隊の車両や隊員の職種を把握し、役割分担したシフト表作成とその日の活動指示、穴水総合病院の入院・外来患者の転院調整やDMAT車を使用し数十キロ離れた病院までの患者搬送、施設と避難所を巡回し、避難者の生活状況や栄養状態等の聞き取り調査などを行いました。

発災から一ヶ月が経過した時点での派遣でしたが、上下水道を含めたインフラが復旧しておらず、特にトイレ・入浴は不自由さを余儀なくされ、保健センター内の災害用トイレでも使用済トイレトーパーは流さずにゴミ箱へ捨て、雪解け水を便器に流して使用していました。被災者の方からも「食料はあるけど水が使えない」とお聞きし、地震災害で日常が一変した中で、復旧までの生活の困難さを感じました。

当院は災害拠点病院としてDMATを組織し国や県・市の主催する災害訓練に臨み、平時から組織体制の確認と課題の整理・修正を重ねています。災害支援活動や日々の訓練を通して、災害時に地域での役割を果たせるよう備えて参ります。

最後に、今回の地震により被害に遭われた皆様へ心からのお見舞いを申し上げますと共に、被災地の皆様の安全と一日も早い復旧・復興をお祈り申し上げます。



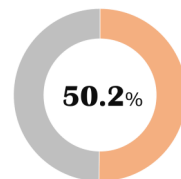
緩和ケア

がん治療は痛みだけでなく、治療に伴う吐き気や便秘、倦怠感などの副作用や気持ちのつらさ、お金の問題など、様々な不安や悩みを伴います。

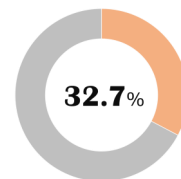
緩和ケアは、そのような苦痛を和らげ、自分らしい生活が送れるようお手伝いをします。“治療ができなくなったときや終末期を迎えるときのケア”と誤解されることがありますが、終末期だけでなく、早い段階でがん治療と並行して受けることが推奨されています。

当院の緩和ケアは、外来や入院に加え、患者さんの生活のペースに合わせながら、住み慣れた自宅で受けることもできます。

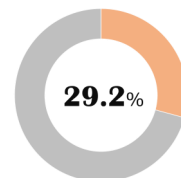
がん治療中の悩みや負担



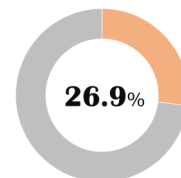
症状によるつらさ



外見の変化



症状への対処の仕方



治療費・医療費

厚生労働省「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査報告書」
(2013年)

緩和ケア外来

緩和ケアの専門的な知識をもつ医師が診察をしています。

診察日 月・水・木曜日の午前

訪問診療・往診

歩行困難や寝たきり等で外来通院が難しい場合は、定期的または臨時で医師がご自宅に訪問し診察します。注射及び点滴、血液検査や薬の処方を行います。

症状コントロール

痛みや倦怠感、息苦しさ等に応じて、医療用麻薬などを使用して症状コントロールを行います。貧血がある場合は輸血を行います。

KM-CART

(腹水ろか濃縮再静注法)
腹水を腹腔から抜いて、細菌やがん細胞をとり除き、アルブミンなどが濃縮された腹水を点滴で体に戻す治療です。(腹水がたまらないようにする治療ではありません。)

レスパイト入院

自宅で介護をしているご家族の介護負担軽減や一時的に自宅での療養生活が困難となった場合に、入院受け入れを行っています。

在宅看取り

“自宅で最期を迎えたい”と希望される患者さんには、訪問診療や訪問看護を利用しながら、自宅で安心して過ごすことができるようにサポートします。

新任医師のご紹介

脳神経外科



有川 壮磨

地元宮崎出身です。
日向市の脳疾患を支えていますので、よろしくお願いいたします。

リハビリテーション科



米山 匠

当院へ入院された方が安心してリハビリテーションを行っていただけるよう、多職種で協力して診療を行います。和田病院回復期リハビリテーション病棟をよろしくお願いいたします。

外来診療担当表

■月～金曜日

午前 8:30～12:00 (受付 11:30まで)

午後 13:30～17:00 (受付 16:30まで)

■土曜日 (第2・4土曜は休診)

午前 9:00～12:00 (受付 11:30まで)

救急の方は電話にてお問い合わせください

診療科		月	火	水	木	金	土
内科	午前	出先 亮介 堀之内 寿人	伊藤 康司 堀之内 寿人	松田 基弘 大園 芳範	伊藤 桂代子	出先 亮介 堀之内 寿人	大学医師または 非常勤医師
	午後	伊藤 康司	出先 亮介 *大園 芳範	松田 基弘 大園 芳範	出先 亮介	秋月 溪一	-
外科	午前	-	和田 徹也	-	和田 徹也	-	大学医師または 非常勤医師
	午後	-	-	-	大学医師	-	-
脳神経外科	午前	二見 宗智 藤田 摩美	藤田 摩美	二見 宗智 藤田 摩美	二見 宗智 藤田 摩美	二見 宗智	大学医師
	午後	藤田 摩美	藤田 摩美	藤田 摩美	藤田 摩美	-	-
泌尿器科	午前	-	-	-	-	-	-
	午後	-	福井 淳一	-	福井 淳一	-	-
専門外来	肝臓・・・大園 芳範 水曜日【午前/午後】 *第2火曜日【午後】 膠原病・・・松田 基弘 水曜日【午前/午後】 血液・・・秋月 溪一 金曜日【午後】						

基本理念 「個人の尊厳と人間愛に基づく医療を目指す」

基本方針

1. 日向入郷医療圏において、救急医療、災害医療、脳卒中を中心とした安全で質の高い医療の提供に努めます
2. チーム医療を推進し、患者様が安心して療養生活ができる療養環境を提供します
3. 地域住民の健康増進と疾病予防に寄与します
4. 医療安全対策、個人情報保護に努めます
5. 患者様の個別性を尊重し、患者様中心の医療を提供します
6. 働きやすくやりの持てる職場環境作りに努めます

患者さん相談窓口

外来フロアに「患者相談窓口」を設置しております。病気に関することや生活上での困りごと、病院へのご意見等、様々なご相談に対応いたします。

平日 8時30分～17時
土曜 9時～12時

ご相談の際は上記時間帯に相談室へお越しいただくか受付・当院職員へお声がけください。



医療法人 誠和会 和田病院

〒883-0051 宮崎県日向市向江町1丁目196-1

TEL: (0982) 52-0011

FAX: (0982) 54-1012

関連施設

- ◆介護老人保健施設 メディケア盛年館
TEL: (0982) 53-8788 FAX: (0982) 53-8780
- ◆和田病院指定居宅介護支援事業所
TEL: (0982) 55-9035 FAX: (0982) 55-9036



日本医療機能評価機構 認定病院

病院が備えているべき機能について、第三者機関の専門調査者チームによる「病院機能評価」審査を経て、一定の水準を満たした病院が認定されます。

